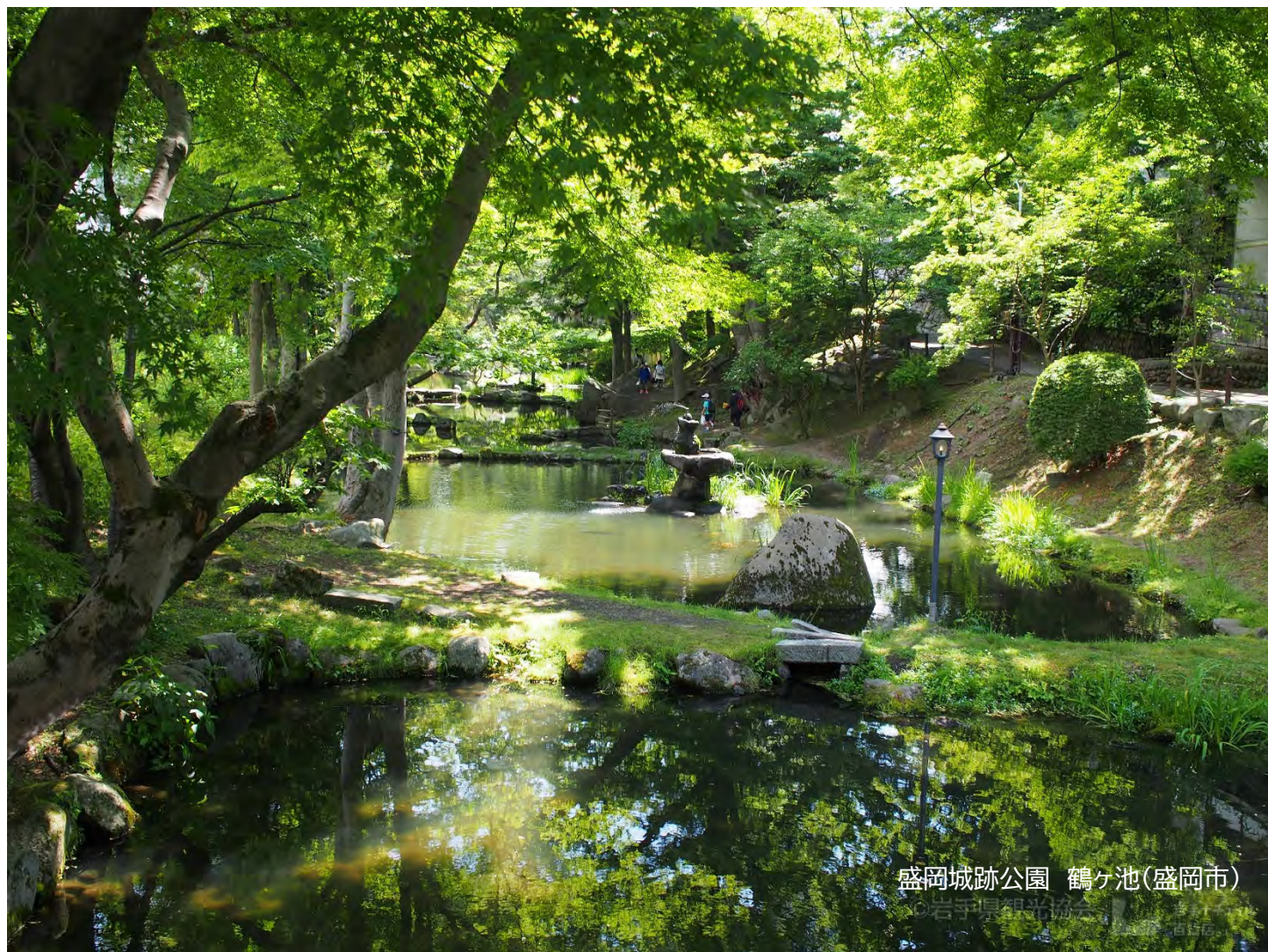


御所野縄文公園(一戸町)



ふるさと岩手応援寄付

～令和4年度事業実施状況のお知らせ～



盛岡城跡公園 鶴ヶ池(盛岡市)

©岩手県観光協会

御挨拶



令和4年度寄附者の皆様

日頃から、岩手県を応援いただき、ありがとうございます。

令和4年度は、ふるさと岩手応援寄付に、3,875件、186,750,652円もの御支援をいただきました。本県への温かい御寄附を賜りましたことに心から御礼申し上げます。

いただきました御寄附は、皆様の「岩手県を応援したい!」というお気持ちを踏まえ、大切に活用させていただきました。寄附金を活用して実施した取組の実施状況を取りまとめたので、御一読いただければ幸いです。

岩手県は、「県政150周年記念期間」を迎えており、国内最多となる3つの世界遺産や、ニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」の2番目に盛岡市が選ばれるなど、たくさんの魅力にあふれております。

今後も、観光に、交流に、ふるさと納税に、是非本県との関わりを深めてください。引き続き、御支援のほどよろしくお願いいたします。

令和5年12月 岩手県

岩手県への御寄附の御案内

岩手県では、県への直接のお申し込みのほか、ふるさと納税ポータルサイトも活用しながら、御寄附の募集を承っております。引き続き、皆様から御支援をいただけますと幸いです。

【岩手県ホームページ】

「ふるさと岩手応援寄付」について、詳しく御紹介しています。
令和3年度以前の寄附金の活用状況も掲載しています。
ぜひご覧ください。

[ふるさと岩手応援寄付](#)



電子決済(クレジットカード払、コンビニ決済、キャリア決済など)による御寄附は、次のふるさと納税ポータルサイトにて承っております。



目次

No.	項目	ページ
I 事業応援型寄附		
1	「いわての学び希望基金」に活用	… 1
2	「東日本大震災津波伝承館の運営」に活用	… 1
3	「いわて子どもの森遊具充実」に活用	… 2
4	「子どもの居場所づくり応援」に活用	… 2
5	「動物愛護・適正飼養の普及啓発」に活用	… 3
6	「子どもたちの夢を応援! 県立学校の環境充実」に活用	… 3
7	「岩手県立大学未来創造応援プロジェクト」に活用	… 4
8	「グローバル人材の育成」に活用	… 4
9	「三陸鉄道の支援」に活用	… 5
10	「災害復旧等対策」に活用	… 5
11	「いわて産業人材奨学金返還支援基金」に活用	… 6
12	「伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業支援」に活用	… 6
13	「岩手の農林水産業を応援」に活用	… 7
14	「いわての世界遺産の保存・活用」に活用	… 7
15	「平泉世界遺産ガイダンスセンターの運営」に活用	… 8
16	「海洋ごみ対策」に活用	… 8
17	「海岸環境整備事業」に活用	… 9
18	「いわて社会貢献・復興活動支援基金」に活用	… 9
19	「ILCプロジェクト」に活用	… 10
20	「北上川バレープロジェクト」に活用	… 10
21	「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」に活用	… 11
22	「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」に活用	… 11
II 特定課題対応型寄附		
23	「新型コロナウイルス感染症対策」に活用	… 12
III クラウドファンディング型ふるさと納税		
24	【三陸鉄道応援】被災地の「今」と三陸鉄道の魅力を伝える映像制作とモニター設置を支援したい	… 12
IV 分野別型寄附の活用状況		
(お知らせ)		
	岩手とのつながりを感じていただくために	… 14~15
	岩手県は「150周年記念期間」を迎えています!!	… 16

1. 「いわての学び希望基金」に活用

令和4年度受入実績 19,423,811円

東日本大震災津波により被災した子どもたちが、自らの希望に沿った学校を卒業し、社会人として独り立ちするまで、息の長い支援を行うことを目的としており、いただいた御寄附は次のような修学の支援、教育の充実を図るための事業に活用しました。

- 奨学金給付事業費
震災により親を失った児童・生徒等に対して奨学金を給付し、「暮らし」と「学び」の支援を行いました。
- 教科書購入費等給付事業費
被災した高校生に対し、入学一時金や教科書購入費、修学旅行費、高校等入学一時金などを支援しました。
- 被災地生徒運動部活動支援事業費
運動部活動において、被災した中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会に参加するために必要な交通費等を支援しました。
- 被災地児童生徒文化活動支援事業費
文化活動において、被災した小・中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会やセミナーに参加するために必要な交通費等を支援しました。
- 被災地通学支援事業費補助
被災した生徒等に対する通学の支援を図るため、通学定期券購入費の助成を行いました。



復興教育の授業風景



運動部活動の様子



東日本大震災津波伝承館での学習風景

担当:復興防災部復興推進課推進担当 電話:019-629-6935

2. 「東日本大震災津波伝承館の運営」に活用

令和4年度受入実績 6,622,860円

東日本大震災津波伝承館では「命を守り、海と大地と共に生きる」を展示テーマに、東日本大震災津波の悲しみを二度とくり返さないために、津波の映像や写真、被災者の声や被災物の展示を通して、震災の事実と教訓を国内外及び次世代に伝承しています。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

- 企画展示の開催
発災から復興に至るまでの状況や、防災・減災に関する情報など常設展示の内容を補う企画展示を開催し、来館者に「学びの場」を提供しました。



- 震災学習プログラム教材の作成・配布
震災津波の体験、記憶がない児童・生徒にも展示内容の理解が深まるよう、震災津波伝承ノート(中高生用)及び震災津波学習ノート(小学生用)を作成し配付しました。



担当:東日本大震災津波伝承館 電話:0192-47-4455

3. 「いわて子どもの森遊具充実」に活用

令和4年度受入実績 7,496,875円

いわて子どもの森は、自然の中でのびのびと自由に遊びやふれあい体験ができる全県的な子どもの健全育成の拠点として、平成15年5月5日に開館した大型児童館です。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○ 水の広場防水改修工事

老朽化に伴う水漏れ箇所の改修を行い、子どもたちの安全確保につながる整備を行いました。



担当:保健福祉部子ども子育て支援室子ども家庭担当 電話:019-629-5457

4. 「子どもの居場所づくり応援」に活用

令和4年度受入実績 18,821,963円

子ども食堂や学習支援など、子どもが一人でも安心して過ごすことができ、食事や交流、活動を通じて様々なことを学ぶことができる「子どもの居場所」の立ち上げの支援や、「貧困の連鎖」を防止するための学習会・個別指導等に取り組んでおり、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

① 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業費

子ども食堂や学習支援などを行う「子どもの居場所」の取組拡大を図るため、「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じて、新規開設を目指す団体の支援に加え、食材などの寄附を行う企業・個人と子ども食堂などのマッチングを行いました。

また、取組の継続やさらなる充実のため、子ども食堂などを運営する団体に向けて、研修の実施や相談支援を行いました。



子ども食堂の取組の様子

② 子どもの学習・生活支援事業費

貧困による学習機会の格差を解消するため、生活に困窮する世帯等の子どもを対象に学習会及び個別指導を実施し、自主学習への助言指導、進路相談・悩み相談等に対応しました。

また、学習支援に加え、生活習慣・育成環境を改善する支援を行うことにより、「子どもを入り口とした世帯全体への支援」を行いました。



担当:①保健福祉部子ども子育て支援室次世代育成担当 電話:019-629-5456
②保健福祉部地域福祉課指導生担当 電話:019-629-5425

5. 「動物愛護・適正飼養の普及啓発」に活用

令和4年度受入実績 6,599,655円

動物愛護関連行事を開催し、動物愛護思想の普及啓発に取り組むとともに、動物愛護団体等と連携した譲渡会の開催など、積極的な譲渡の取組や負傷した動物の治療に活用しました。

○ 動物愛護推進事業費・狂犬病予防費

動物愛護週間行事

動物愛護思想や適正飼養の関心と理解を深め、より多くの県民に対する普及啓発を行うため動物愛護週間行事を開催しました。動物を通じて命の大切さや共につながり支えあう心の学びにつながっています。



動物愛護週間フェスティバルの様子

動物愛護団体等と連携した譲渡会

保健所に引き取られたり、飼い主に返還されなかった動物の譲渡会を動物愛護団体等と連携し定期的で開催しています。新しい飼い主の方への譲渡により、殺処分の減少につながっています。



保護猫の譲渡会の様子

担当:環境生活部県民くらしの安全課食の安全安心担当 電話:019-629-5323

6. 「子どもたちの夢を応援! 県立学校の環境充実」に活用

令和4年度受入実績 5,265,912円

岩手の未来を担う子どもたちが自身の夢や希望に向かって勉強や部活動に取り組むため、県立学校の生徒が授業で使用する設備や部活動で使用する備品の整備など、教育環境の充実を図る事業を行っており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○ 産業教育設備整備費

高等学校の産業教育に必要な実験実習設備等を整備し、農業・工業・商業・水産業その他の産業の即戦力となる人材育成につながっています。



授業風景

○ 部活動設備整備費

部活動に必要な設備を整備し、スポーツ・文化・科学・芸術等の楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を自ら創造する活動の場になっています。



活動風景

担当:教育企画室施設整備管財担当 電話:019-629-6152

7.「岩手県立大学未来創造応援プロジェクト」に活用

令和4年度受入実績 2,197,419円

岩手県立大学では、地域に根差した高等教育機関としての役割を充実・強化し、地域に貢献する取組を実践しており、各市町村における地方創生の取組をはじめ地域の課題解決や産業振興に向けた取組など、岩手県立大学が県民のシンクタンクとして地域の未来創造に貢献する取組を推進するための事業に活用しました。

○ 公立大学法人岩手県立大学運営費交付金

岩手県立大学では、県内のものでづくり産業の生産性・付加価値向上に繋がる産学共同研究や高度技術者の育成を推進するため「いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター」(通称:i-MOS)を設置・運営するとともに、地域貢献を目的とする研究を推進し、当該研究の成果普及を促進するため「地域政策研究センター」を設置・運営し、県民が抱える課題に対応した研究や産学官連携の取組を推進しており、県は運営費交付金でこれらの取組を支援しました。



i-MOS
高度技術者養成講習会の様子



地域課題解決に向けた協働研究の様子



担当:ふるさと振興部学事振興課学事企画担当 電話:019-629-5045

8.「グローバル人材の育成」に活用

令和4年度活用実績 4,081,875円

国際的な視野を持って地域で活躍する人材の育成や県内定着を進めるため、産学官が一体となった「いわてグローバル人材育成推進協議会」で実施する外国人留学生等の県内就職支援や、県内企業との交流機会の創出のための事業に活用しました。

○ グローバル人材を対象としたキャリアフェア

外国人留学生等の県内での就職・定着を支援することを目的として、「グローバルキャリアフェア」を開催しました。



キャリアフェアの様子

○ 事前オリエンテーション

キャリアフェア開催に先立ち、事前オリエンテーションを開催し、就職活動の進め方について学ぶとともに、県内企業研究のワークショップを行いました。



オリエンテーションの様子

担当:ふるさと振興部国際室 電話:019-629-5765

9. 「三陸鉄道の支援」に活用

令和4年度受入実績 7,017,000円

皆様から頂いた御寄附は、通勤や通学等で日常的に利用いただいている方々の利便性の向上や企画列車を運行する際の車内企画の充実等を図るため、車両3両のボックス席にテーブルを設置するための費用に活用しました。引き続き、三陸鉄道の更なる利用促進のための事業に活用していきます。



テーブル設置



企画列車の様子

担当:ふるさと振興部交通政策室地域交通担当 電話:019-629-5206

10. 「災害復旧等対策」に活用

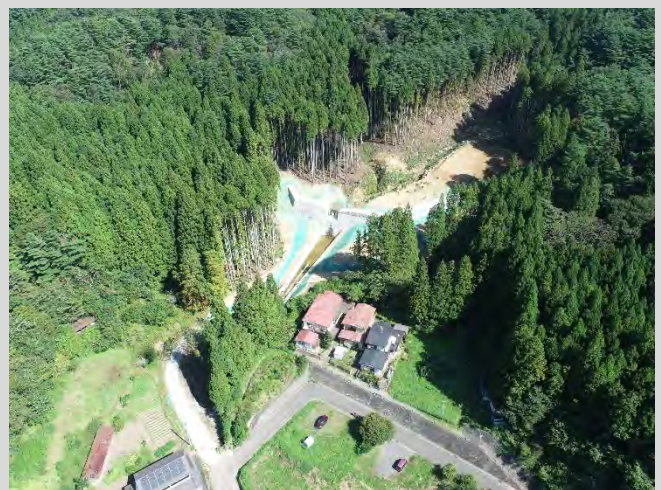
令和4年度受入実績 4,967,978円

平成28年台風第10号や令和元年東日本台風等で甚大な被害を受けた地区の復旧・復興に取り組んでいます。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

- 砂防激甚災害対策特別緊急事業費
令和元年東日本台風により甚大な土砂被害が発生した地区において、再度災害を防止するための砂防堰堤等の整備を進めました。



令和元年東日本台風の被害状況(令和元年10月)



砂防堰堤完成状況(令和4年11月完成)

担当:県土整備部砂防災害課 電話:019-629-5923 5

11. 「いわて産業人材奨学金返還支援基金」に活用

令和4年度受入実績 2,046,875円

将来の本県産業を担うリーダーとなる人材を確保し、地域産業の高度化と持続的な発展を推進していくため、学生が大学などを卒業後または既卒者がU・Iターンを希望した場合に、県内企業に一定期間就業することを条件に奨学金の返還支援を行っており、いただいた御寄附は助成金の一部として活用しました。

(独法)日本学生支援機構の第一種及び第二種奨学金の貸与を受けている支援対象者に対し、返還金額の1/2(最大250万円)まで助成しています。



収入額の少ない就業当初の負担を少しでも軽減するため、限度額の範囲内で、就業1年目から返還額と同額を助成しています。



担当:商工労働観光部ものづくり自動車産業振興室 電話:019-629-5553

12. 「伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業支援」に活用

令和4年度受入実績 25,487,922円

県内地場産品事業者が環境の変化に対応し、付加価値の高い、働きがいのある産業として持続的に成長していくため、自社商品の開発支援や情報発信、人材確保のための学生インターンシップ等の取組を実施しており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

- ホームスピンの伝統的工芸品新規指定支援
伝統的工芸品の国の新規指定に向け、県内ホームスパン事業者の作品を一堂に集め展示販売会を実施し、国内随一の産地であることを広く発信するなど、機運醸成を図りました。



ホームスパン展示販売会の様子

- 漆インターンシップ
県内外の学生に対し、塗師、木地職人等の仕事を体験してもらい、漆産業の情報発信及び人材確保につながるインターンシップ事業を実施しました。



インターンシップ実習の様子

担当:商工労働観光部産業経済交流課 電話:019-629-5536

13.「岩手の農林水産業を応援」に活用

令和4年度受入実績 4,097,875円

地域漁業の次代を担う意欲ある人材の確保・育成や、本県の農林水産業をけん引する女性農林漁業者の育成に取り組んでおり、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

- ① 漁業担い手確保・育成総合対策事業費
東日本大震災津波からの漁業の復興を目的として、若年層を対象とした漁業体験学習等に取り組みました。
- ② いわて水産アカデミー運営事業費
漁業就業者の確保・育成を目的として、漁業の基礎的な知識や最新の技術を習得できる「いわて水産アカデミー」の運営を支援しました。
- ③ 幸せ創る女性農林漁業者育成事業費
農林水産業をけん引する女性農林漁業者の育成を目的として、女性のグループ活動等を支援しました。

- ① 漁業担い手確保・育成総合対策事業費
- ② いわて水産アカデミー運営事業費
- ③ 幸せ創る女性農林漁業者育成事業費



漁業体験学習の様子



定置網漁業実習の様子



勉強会の様子

担当:①②農林水産部水産振興課 電話:019-629-5806
③農林水産部農業普及技術課 電話:019-629-5654

14.「いわての世界遺産の保存・活用」に活用

令和4年度受入実績 2,351,875円

岩手の3つの世界遺産「平泉」「橋野鉄鉱山」「御所野遺跡」を、人類共通の宝として未来へ継承していくため、世界遺産の適切な保存管理や価値の普及に取り組んでおり、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

- 世界遺産保存活用推進事業費
児童生徒を対象にした「世界遺産出前授業」や、教員を対象とした「世界遺産教員現地研修会」を開催し、学校教育活動を通じた県民の理解増進や保存活用に向けた普及啓発等に取り組みました。
- 平泉の文化遺産プロモーション事業費
「平泉」をはじめとする本県の世界遺産について、広くその価値を普及しながら、魅力を発信し、多くの方に来訪していただけるよう、「いわて世界遺産まつりin平泉」を開催しました。



世界遺産出前授業



世界遺産まつりin平泉

担当:文化スポーツ部文化振興課世界遺産担当 電話:019-629-6488 7

15.「平泉世界遺産ガイダンスセンターの運営」に活用

令和4年度受入実績 1,771,875円

平泉世界遺産ガイダンスセンターでは、世界遺産「平泉」の価値を広く世界中に伝え、人類共通の財産として後世へ継承するための拠点となる施設として、その価値や特徴を、映像や立体展示物等で分かりやすく伝えています。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○ 開館1周年企画展の開催

開館1周年を記念し、石に表された奥州藤原氏の理念と、それを継承した人々の仏への祈りをテーマに、企画展「石のほとけ～平泉の仏教石造物～」を開催しました。



○ 体験教室の開催

誰でも楽しみながら平泉の浄土思想に触れることができるよう、烏帽子のペーパークラフト・翁のお面づくり・起き上がり小法師制作などの体験教室を、毎月1回開催しました。



担当:文化スポーツ部文化振興課世界遺産担当 電話:019-629-6488

16.「海洋ごみ対策」に活用

令和4年度受入実績 4,714,961円

近年、海洋に流出するプラスチックごみなどによる地球規模での海洋環境汚染が進んでおり、岩手県においても海岸に漂着したごみの回収・処理や発生抑制のための普及啓発、海洋モニタリング調査等を行っています。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

① 海岸漂着物等地域対策推進事業費

- ・ 県民の皆さんが海洋ごみ問題に一層関心を持ち、海岸清掃活動等に積極的に取り組む機運を醸成すべく、「海ごみゼロウィーク」での海岸清掃イベントの開催及び広報による県民向けの啓発活動を行いました。
- ・ 海洋ごみの啓発パンフレットを作成し、県内小学校に配布しました。また、県内各地域において中学校と連携し海ごみ出前授業を実施し啓発を行いました。
- ・ 岩手県沿岸海洋上でマイクロプラスチックのモニタリング調査を行いました。

② 河川海岸等維持修繕費

海岸における良好な環境を保全するため、海岸に漂着したごみの回収・処理やモニタリング調査を行いました。



出前授業の様子



海岸清掃イベントの様子



啓発パンフレット(表紙)

担当:①環境生活部資源循環推進課
②県土整備部河川課

電話:019-629-5367
電話:019-629-5907 8

17. 「海岸環境整備事業」に活用

令和4年度受入実績 2,151,875円

東日本大震災津波や地盤沈下により砂浜が消失した根浜海岸において、平成30年度から砂浜再生事業による養浜工事を進め、令和3年3月31日に砂浜の一般開放を行いました。
いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○ 海岸調査費

砂浜再生事業により養浜を行った砂浜の状況の確認等を行いました。
砂浜は令和3年3月31日に一般開放され、令和5年度も7月15日に海開きが行われたほか、「オープンウォーター・スイミング2023 根浜」が開催されるなど、多くの方々に砂浜を利用いただいています。



養浜前の根浜海岸



養浜後の根浜海岸



砂浜の一般利用の様子(令和5年7月)

担当: 県土整備部河川課河川海岸担当 電話: 019-629-5907

18. 「いわて社会貢献・復興活動支援基金」に活用

令和4年度受入実績 3,007,235円

復興支援活動及び地域課題解決に取り組むNPO等への支援として、NPO等の運営基盤を強化することを目的とした事業に取り組んでおり、いただいた寄附は次のような事業に活用しました。

○ NPO活動交流センター管理運営費

復興支援などを活動目的とするNPO等が目的達成まで安定的に運営できるよう、団体の運営基盤を強化するための研修を行いました。



運営基盤強化セミナーの様子

○ NPO等基盤強化事業

県内のNPOが実施する地域課題解決の取組に対し補助金を支給したほか、復興支援活動や協働の取組を推進するためNPOと企業との交流会を行いました。



補助金を活用して実施した事業の様子

担当: 環境生活部若者女性協働推進室 電話: 019-629-5198

19.「ILCプロジェクト」に活用

令和4年度受入実績 2,100,080円

国際協力で建設される世界最先端の研究施設「国際リニアコライダー(ILC)」の実現に向けて、国内外への情報発信、建設候補地として必要となる受入環境整備に向けた調査検討や県内企業の加速器関連産業への参入促進、人材育成の取組など、積極的な活動を展開するため、いただいた御寄附を次のような事業に活用しました。

○ 機運醸成に向けた取組

ILC実現に向けた機運の醸成を図るため、県内外のイベントでのブース出展、県内プロスポーツチームと連携したPR、ILC講演会の開催、SNSによる国内外への情報発信等を行いました。



「VACUUM2022真空展」(東京都)

○ 加速器関連産業の振興

県内企業の加速器関連産業への参入促進に向けた、関連企業の技術力向上と人材育成、ILCに関する技術・研究成果の産業化の支援を行いました。



「ILCチャレンジ部」の開催

担当: ILC推進局事業推進課 電話: 019-629-5203

20.「北上川バレープロジェクト」に活用

令和4年度受入実績 2,086,875円

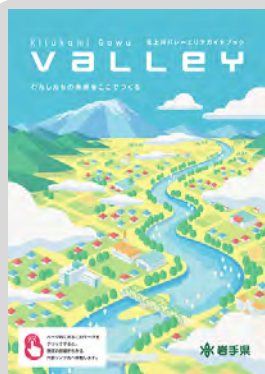
いわて県民計画(2019~2028)の重要プロジェクトである「北上川バレープロジェクト」の目指す姿である「働きやすく、暮らしやすい」エリアの実現に向けて、いただいた御寄附を活用して次のような北上川バレーの魅力を広く発信するためのセミナーを開催しました。

○ 北上川バレーエリアガイドブックによる情報発信

県内外の18歳から35歳までの若者に対し、北上川バレーエリア(盛岡・県南圏域)の魅力を端的に伝えられるデジタルパンフレットを活用し、FacebookやInstagramなどのSNSにより、情報発信を行いました。

○ 半導体業界動向セミナー

「働きやすい」エリアの実現に向けて、北上川バレーエリアで集積が進む、半導体関連産業において、世界の半導体業界に精通した専門家等を招き、最新の半導体業界・施策動向等に関するセミナーを開催しました。



北上川バレー
エリアガイドブック



担当: ふるさと振興部地域振興室 電話: 019-629-5184 10

21. 「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」に活用

令和4年度受入実績 2,270,375円

「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」は、三陸地域の多様な魅力を発信して国内外との交流を活発化することにより、岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展するゾーンの創造を目指す取組を行っており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

- 三陸防災復興ゾーンプロジェクトの推進
三陸地域の総合的な振興を図るため、県、市町村、大学及び関係団体を構成員とする「三陸振興協議会」において、今後の三陸振興に向けて議論しました。



三陸振興協議会の様子

- 防災を学習する場づくりの推進
三陸地域で、それぞれ取り組んでいる震災伝承や防災教育等の活動について、広域的な取組とし、三陸地域全体を「防災を学習する場」としていくための仕組みづくりに取り組みました。



三陸地域で防災学習に取り組む様子

担当:ふるさと振興部県北・沿岸振興室沿岸振興担当 電話:019-629-6222

22. 「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」に活用

令和4年度受入実績 1,891,875円

県北圏域をはじめとする北いわての持つポテンシャルを最大限に発揮させる地域振興を図るとともに、人口減少と高齢化、環境問題に対応する社会づくりを一体的に推進することで、あらゆる世代がいいきと暮らし、持続的に発展する先進的なゾーンの創造を目指す取組を行っており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

- アクティブシニアによる見守りと買い物支援サービスの実証実験
民間力を活用し、高齢者の見守りとあわせ、地域サービスの担い手としてアクティブシニアの活躍機会を提供する社会実験を実施しました。



野菜販売の様子

- 地域の将来を担う人材の育成
幅広い分野で地域の将来を担う人材の育成を図るため、地域の高校生等を対象にSDGs教育や地域社会が抱える課題解決の手法を学ぶ脱炭素未来ワークショップを開催しました。



高校でのワークショップ

担当:ふるさと振興部県北・沿岸振興室県北振興担当 電話:019-629-5211

23. 「新型コロナウイルス感染症対策」に活用

令和4年度受入実績 6,330,691円

新型コロナウイルス感染症により入院が必要となる患者の地域の実情に応じた柔軟かつ機動的な入院受入体制の整備や、医療機関の経営支援と地域医療の確保による安定した医療提供体制の整備に取り組んでおり、いただいた御寄附は次のような取組に活用しました。

- 結核病床集約事業
各医療圏の病床確保にあたり、県内の結核患者を国立病院機構盛岡医療センターに集約することにより、結核病床の有効的活用及び一般医療との両立を図りました。
- 後方支援事業
新型コロナウイルス感染症患者の受入病床を効率的に運用するため、退院基準を満たした患者を受け入れる後方支援医療機関に対して補助を行い、医療機関の経営支援と地域医療の確保を実施しました。



結核病床集約事業で御対応いただいた国立病院機構盛岡医療センター



新型コロナウイルス感染症患者への対応の様子

担当:保健福祉部医療政策室感染症担当 電話:019-629-6092

24. 【三陸鉄道応援】被災地の「今」と三陸鉄道の魅力を伝える映像制作とモニター設置を支援したい

令和4年度受入実績 798,000円

三陸鉄道では「震災の記憶と教訓を繋ぐ」震災学習列車をはじめとしたスタディーツーリズムに取り組んでいます。また、こたつ列車等の企画列車では、ガイドによる沿線の観光スポット等の案内を行っています。

今回、より多くの方々が被災地の「今」を知り、列車旅を楽しんでいただくため、車窓からは見られない沿線の観光スポット等の動画作成や作成した動画を車内で視聴するモニター等の設置を行う三陸鉄道の取組を支援し、レトロ調車両2両に大型モニター等を設置しました。

○ 映像制作

震災の資料映像や被災地の「今」の様子、沿線の観光スポット等三陸の魅力もお伝えする映像に仕上げました。



ドローンを使つての撮影の様子

○ 車内へのモニターの設置

2車両にモニターを設置して、今回制作した映像等をご覧いただきながら、より分かりやすいガイドを行います。



担当:ふるさと振興部交通政策室地域交通担当 電話:019-629-5206

IV 分野別型寄附の活用状況



魅力あるふるさとづくりに活用

令和4年度受入実績 2,366,875円

第4次産業革命技術を活用した生活サービスの支援や人と人の交流の促進など、将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティの実現に向けた取組のほか、三陸ジオパークのユネスコ世界ジオパーク登録に向けた取組等に活用しました。



文化芸術・スポーツ振興に活用

令和4年度受入実績 2,151,875円

地域の伝統文化をはじめとする文化芸術やスポーツの振興を図り、心豊かでいきいきと暮らせる地域をつくるための取組として、地域の文化芸術活動の支援や、県民のスポーツ参加機会の充実に向け、スポーツイベント・合宿の誘致などに活用しました。



若者・女性の活躍支援に活用

令和4年度受入実績 2,096,875円

若者たちが躍動する地域、女性が個性と能力を十分に発揮できる社会の形成を進めるための取組として、多様な分野で活躍する若者の交流やネットワークづくりの支援、女性が活躍できる環境づくりを進める取組などに活用しました。



保健・医療・福祉充実に活用

令和4年度受入実績 2,981,275円

医療、福祉・介護を充実していくとともに、健康と長生きのための取り組みを推進し、若者からお年寄りまで全ての人々が安心して暮らせる地域をつくるため、医師確保のための取組や、質の高いがん医療提供体制の確立、がん患者等の療養生活の質の向上を図るための取組などに活用しました。



ふるさとの未来を担う人づくりに活用

令和4年度受入実績 1,946,875円

豊かなふるさとの未来を担う人づくりの推進や教育の振興を図り、地域の活性化を実現するための取組として、県内ものづくり産業や農業を支える人材の育成、生徒一人一人の希望する進路の実現に向けた取組などに活用しました。



関係人口創出・拡大に活用

令和4年度受入実績 1,866,875円

岩手への人の流れを創出し、強化し、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」を創出・拡大するための取組などに活用しました。



いわてまるごと交流促進に活用

令和4年度受入実績 1,721,875円

岩手と国内外の人々との交流が広がる地域づくりのため、いわて花巻空港の利用促進による観光誘客や、ラグビー県いわての定着に向けた取組、岩手ファンの拡大を図るための取組などに活用しました。

岩手をデジタル先進地にしたい

令和4年度受入実績 24,051,875円

岩手県内のデジタル化を推進するため、AI人材の育成や産業のDX化に向けた支援、スマート農業の導入に向けた取組などに活用しました。

持続可能なグリーン社会を実現したい

令和4年度受入実績 2,376,875円

県内の脱炭素化を進めるため、温室効果ガス排出量の削減に向けた家庭や事業者における省エネルギー化の促進、波力発電や洋上風力発電などの海洋エネルギーの活用に向けた取組などに活用しました。

岩手とのつながりを感じていただくために

岩手県では、ふるさと岩手応援寄付のほか、皆様に岩手との「つながり」を感じていただくために、次のような取組を進めています。

興味がございましたら、二次元バーコードからご覧ください。

いわてのわ(facebook)

岩手県公式facebookページ「いわてのわ」では、「いわてが好き」「いわてのことをもっと知りたい」といった岩手に関心のある方々に向けて岩手の様々情報を発信しています。

「いわてのわ」
facebook



いわてのわ(ポータルサイト)

あなたらしい岩手とのつながりを見つけれるポータルサイト。岩手とつながる情報を掲載しています。

「いわてのわ」



岩手さちこ【公式ch】

岩手県公認VTuber「岩手 さちこ」の公式Xです。様々な情報をお伝えしています。

「岩手さちこ」
岩手県公認VTuber」



コミックいわてWEB

岩手ゆかりのマンガ家が描いた、岩手の文化、歴史・伝承、名所、グルメなど岩手の魅力が詰まったマンガを配信しています。

英語・中国語・フランス語のマンガも掲載し、海外にも岩手の魅力を発信しています。

「コミックいわてWEB」



遠恋複業課

岩手と離れて暮らしながらも、岩手でスキルを生かした複業をしたい！と考えている、複業を通じて岩手とお付き合いして下さる方を募集しています。

「遠恋複業課」



&iwate

「ふだんが、とくべつ。」をコンセプトに、県内全33市町村と制作した「ビジュアルブック」です。岩手にIターンした12名の移住ストーリーをまとめました。ウェブ上でもご覧いただけます。

「&iwate」



岩手とのつながりを感じていただくために

いわての旅

本州一の広さを誇る岩手県の、四季折々の豊かな自然や3つの世界遺産、個性豊かな温泉など、観光情報をご紹介する岩手県の観光ポータルサイトです。

「いわての旅」



いわて食財倶楽部

「山の幸」「海の幸」にあふれるいわては『食財の宝庫』です。いわての県産食材や本県食材を使用する飲食店、イベントなどを紹介しています。

「いわて食財倶楽部」



移住定住ポータルサイト「イーハトー部に入ろう！」

岩手県は、かつて宮沢賢治が「イーハトーブ」と名付け、心の中の理想郷として愛したふるさと。個性豊かな人々が、それぞれにいわて暮らしを楽しんでいます。

そんな一人ひとりのこだわり方・暮らし方を、「部活動」の楽しさに見立て、「イーハトー部」を立ち上げました。

サイトでは、移住イベント情報、移住者インタビュー記事、県・市町村の支援情報などを確認することができます。



「イーハトー部に入ろう！」



■ メールマガジン「イーハトー部に入ろう!仮入部通信」配信中

岩手の最新情報や支援制度、岩手県在住の作家による「特別連載」など、いわて暮らしの魅力をお届けするメルマガを月3回、配信しています。ぜひご登録をお願いします。

「メルマガ登録」



就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」

求人情報と求人マッチングの両方を兼ね備えた県公式サイトで、常時7,000件以上の求人を掲載しています。

今年度から「インターンシップ」の募集情報をまとめた専用ページが新しく出来ました。受入時期や業種等からインターンシップごとの企業を検索することが可能です。



「シゴトバクラシバいわて」



■ Z世代のための就職活動応援メディア「みんなの想職活動 in IWATE」



今秋オープンした岩手で働く魅力や価値を発信するウェブメディアです。カジュアルなデザインとテーマで制作する記事を毎月8本公開しています。



「想職活動」

岩手県は「150周年記念期間」を迎えています!!

大好き!
いわて
これからも



明治5年1月8日「盛岡県」から「岩手県」に改称されてから、

令和4年1月をもって150周年を迎えました。

また、明治9年の県域確定から令和8年度で150周年を迎えます。

岩手県では令和4年度から令和8年度までを「県政150周年記念期間」と位置付け、

様々なイベント等を行っていきます。

公式WEBサイト



祝150周年!写真とコメントを投稿してアルバムを作ろう!

いわて150周年おめでとうアルバム

あなたの好きな岩手の風景や、自慢したい岩手のモノ・コトを写真に撮って、フォトアルバムに投稿しませんか?投稿には一言コメントとニックネームが必要で、お一人様何度でも投稿可能です。



#いわて150

ハッシュタグ「#いわて150」を付けてInstagram、Twitterに投稿して、岩手県政150周年を盛り上げよう!



小岩井農場一本桜(雫石町)



北山崎(田野畑村)

《問い合わせ先》 岩手県ふるさと振興部地域振興室地域振興担当
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 電話:019-629-5184